

Liederabend in MATSUMOTO

ドイツ歌曲の夕べ

Vol.1

～ シューマン夫妻とブラームス ～



天羽 明恵 ソプラノ



青山 貴 バリトン



城谷 正博 ピアノ

2025年4月25日(金) 19:00 開演 (18:30 開場)

松本市音楽文化ホール 小ホール

Ticket : 3,000 円 (全席自由)

<プレイガイド>松本市音楽文化ホール (TEL : 0263-47-2004)

<主催>Liederabend in MATSUMOTO 実行委員会

<お問い合わせ>Liederabend in MATSUMOTO 実行委員会委員長 中村雅夫 (090-3006-1213)

Program

プログラム

献呈、美しさ故愛するなら、美しい五月に、セレナータ 他

手紙や日記を少し読み、三人の生涯を辿りながら、解説付きで歌曲をお聴きいただく演奏会です。

Profile

プロフィール

ソプラノ：天羽 明恵

東京藝術大学卒業。オペラ研修所、二期会オペラ研修所修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてシュトゥットガルト音楽大学に留学。

1995年第6回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。副賞として財団の助成によりベルリンで2年間研修を行う。同年7月、新人の登竜門として知られるラインスベルク音楽祭で<ナクソス島のアリアドネ>のツェルビネッタをクリスティアン・ティーレマンの指揮で歌い、続いて8月に、ソニア・ノルウェー女王記念第3回国際音楽コンクールに優勝し、一躍注目を集めた。その後、ドイツを拠点として、ジュネーヴ大劇場、ザクセン州立歌劇場（ゼンパー・オーパー）、ベルリン・コーミッシェ・オーパー等ヨーロッパ各地の歌劇場や音楽祭に出演。

国内では新国立劇場、サントリーホール・ホールオペラなどへ定期的に登場。超絶的なコロラトゥーラとリリックな声が内外で高い評価を得ており、日本の主要なオーケストラの定期公演にも、著名な指揮者のもとソリストとして出演している。サントリーホール オペラアカデミーのファカルティとして若手の指導にも力を入れるほか、解説付きオペラの公演をプロデュースし、オペラの啓蒙活動にも積極的に取り組んでいる。

1999年度アリオン賞、2003年第14回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞をそれぞれ受賞。これまで故戸田敏子、フランシス・シマル、故エルンスト・ヘフリガーの各氏に師事。

2020年にソロアルバム「R. シュトラウス 4つの最後の歌」をリリース。

バリトン：青山 貴

東京都出身。東京藝術大学卒業。同大学大学院修了。二期会第44期マスタークラス修了。新国立劇場オペラ研修所第4期修了。文化庁、ロームの奨学金を得てボローニャ、ミラノで研鑽を積む。第19回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。2007年第6回カルロス・ゴメスコンクール第1位、2010年第4回マグダ・オリヴェーロコンクールファイナリスト。

オペラでは新国立劇場本公演に2003年『ホフマン物語』ヘルマンでデビューし、2009年オペラ鑑賞教室『トスカ』スカルピア、2023年『サロメ』札幌公演ヨハナーン役などで出演。2024年、新国立劇場本公演に代役として『トスカ』スカルピア役で出演した。

びわ湖ホールでは2017年『ラインの黄金』ヴォータン、2018年『ワルキューレ』ヴォータン、2019年『ジークフリート』さすらい人、2023年『マイスタージンガー』ザックス役などで出演した。

また、「第九」、「メサイア」、ヴェルディ、モーツァルト、フォーレ「レクイエム」、バッハ「口短調ミサ」、「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、ハイデン「天地創造」、「四季」、メンデルスゾーン「エリア」、ブラームス「ドイツレクイエム」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ウォルトン「バルシャザール王の饗宴」、マーラー「千人の交響曲」等のソリストを務める。 国立音楽大学非常勤講師、二期会オペラ研修所講師、二期会会員。

ピアノ：城谷 正博

東京藝術大学作曲科卒業、同大学大学院指揮専攻修了、安宅賞受賞。オペラ指揮者として2000年『フィガロの結婚』でデビュー。オペラは古典から近現代に到るまで90作品を超える幅広いレパートリーを持つ。特にワーグナーはその主要10作品をすべてレパートリーに持つ。

新国立劇場には1998年以来25年以上在籍、数多くのプロダクションに参加しており、現在は同劇場音楽ヘッドコーチとして劇場の音楽的責任を担っている。新国立劇場では2021年3月『ワルキューレ』同年10月2021/22シーズン開幕公演『チェネレントラ』を指揮したほか、高校生のためのオペラ鑑賞教室『椿姫』『蝶々夫人』『トスカ』『愛の妙薬』『夕鶴』『さまよえるオランダ人』（演奏会形式）『ジークフリート』ハイライトコンサート等を指揮している。代表を務めるワーグナー演奏団体「わ」の会では多くのコンサートを手がけワーグナー作品受容の新たな形を開拓している。日本各地でのオペラ上演にも積極的に取り組む。特にまつもと市民オペラでの『魔笛』『ちゃんちぎ』（第10回、第16回佐川吉男音楽賞受賞）では絶賛を博したほか、信長貴富作曲『山と海猫』の初演指揮を担当した。